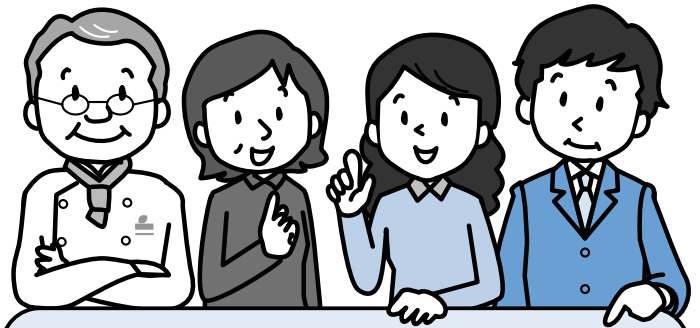
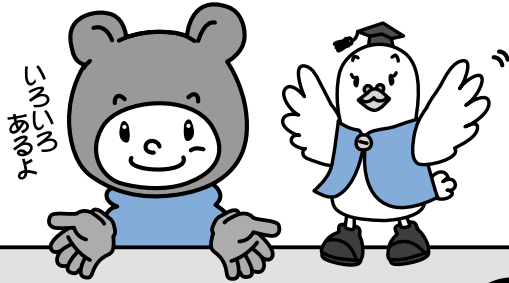


まだまだあります 20年度の事業

20年度の事業をいくつか紹介するよ。

皆さんはどの事業に関心がありますか？



地域によるまちづくり センターの運営を推進

1,500
万円

まちづくり活動の拠点であるセンターの運営を、地域に委ねていきます。今後、地域の意向や受け入れ態勢などの確認を行い、秋ごろからの実施を目指します。



妊婦の救急時のスムーズな 受け入れ体制を整備

466
万円

救急時の妊婦が医療機関に円滑に搬送されるよう、病院との調整を行って医師や救急隊に情報を提供する人員を配置。搬送までの時間を短縮できる体制を整えます。



元気ショップ2号店開設準備

100
万円

市内の小規模作業所などで作った商品を販売している元気ショップ。1号店の好評を受け、利用者の声などを踏まえながら、2号店開設に向けた調査を行います。



↑大盛況の元気ショップ1号店

障がいのある方の就労を促進

500
万円

就労する場がなくて困っている障がい者のために、人材派遣会社を通じて企業などに派遣を行い、一般就労につなげる事業を試行的に実施します。



コンテンツ*産業の振興に向け インターネット上に市場を開設

3,400
万円

企業や大学と連携して、短編映画などの作品を売り買いする市場をインターネット上に創設。今年の短編映画祭に合わせて開設し、その後内容を充実させていきます。



↑まずは札幌国際短編映画祭の応募作品を中心に市場を開設します

*音楽・映画・ゲームなど各種著作物

孤立死を防止する ネットワークづくり

316
万円

一人暮らし高齢者などの孤立死を防止するため、電話相談や出前講座、マンションを対象にしたネットワークづくりのためのモデル事業などに取り組みます。



サミット開催に向け 関連事業を展開

1億
1,000
万円

7月に洞爺湖町で行われるG8サミットに合わせ、来札客のおもてなし、こども環境サミット札幌や啓発セミナーの開催、市民の安全確保などに取り組みます。

私たちは、北海道洞爺湖サミットを歓迎しています
Sapporo welcomes the Hokkaido Toyako Summit



札幌おもてなし
人と地球に思いやり
Sapporo's Warm Welcome to all our Guests



↑札幌市のおもてなしステッカー

新エネルギー・省エネルギー機器 の導入を支援

2億
1,100
万円

温暖化防止のため、エネルギー事業者や金融機関と連携して新たな支援を開始。太陽光発電などを導入する企業や市民に費用の融資・補助を行います（申し込み方法を34頁に掲載）。



↑信濃小学校（厚別区）にある太陽光発電設備

「環境首都・札幌」を宣言

600
万円

地球環境を守るために目指すべき市民像・都市像や市民がなすべき具体的な行動を盛り込んだ宣言を行い、環境都市としての姿勢をアピールします。



↑宣言内容は公募委員などからなる市民会議で検討中

地域からの 生ごみを回収して資源化

520
万円

町内会などの地域グループ（30世帯以上）によって自主的に集められた生ごみを、週1回収。集めた生ごみを施設で堆肥にする取り組みをモデル的に実施します。



↑指定の場所に置いた生ごみを回収

大通公園で「食」の 新イベントを開催

2,000
万円

北海道の味覚を楽しめるお祭りを、これまで大きなイベントのなかった9月中旬～10月上旬に開催。道産食材をメインとした旬の料理や飲料など多彩なメニューを楽しめるようにします。



↑秋の大通に新たなにぎわいを創出（写真は昨年9月に行われたリンケージ・アップフェスティバル）

都心部における 北海道の魅力発信の推進

1,000
万円

市民・観光客の多く集まる都心において、北海道の特産品などが購入でき、食や観光の情報を得られる新たな拠点づくりに向けた取り組みを進めます。



↑道内の特産品を販売するアンテナショップ

皆さんもぜひ、ホームページやパンフレットなどを見て、札幌の財政について考えてみてください。

自分たちの生活に関係ある身近なものから、札幌市を世界にアピールするような大きなものまで、本当にたくさんの事業が計画されているんだね。

パンフレット
「さっぽろのおサイフ」が
新しくなります！

配布場所 区役所、市役所
2階市政刊行物コーナー
HP www.city.sapporo.jp/zaisei/kohyo



市の財政って、今までは近寄り難い話のように思っていたけれど、これからはもっと興味を持って考えてみようと思うわ。

